

楷

第七十三号

岡山大学
附属図書館報
OKAYAMA UNIVERSITY
LIBRARY BULLETIN

KAI
No.73
2021
OCTOBER



<写真>
だいぢやう
大サ三四寸許可食

「備前国備中国之内領内産物絵図帳」（岡山大学附属図書館所蔵池田家文庫より）

—目 次—

- 二〇二〇年春からの一年半（附属図書館長 甲賀研一郎）…………… p.2
- マスカット…………… p.5
池田家文庫絵図展のお知らせ、岡山県立岡山豊学校生徒製作の木製ベンチを
ムラタアカデミアに設置 ほか
- 会議・研修・編集委員から…………… p.12

二〇二〇年春からの一年半

甲賀 研一郎

2020年3月に私たちの生活様式は大きく、急激に、自由が制限される方向に変化した。それから一年半がたつ。本学附属図書館についてこの間を振り返ると、同年1月下旬には第25回知楽セミナー「出会いと別れ アインシュタイン氏の第3の次元」（講師：九州大学秋山良氏）が中央図書館ラーニングcommonsにて開催された。この時点では、開催方式を説明する必要はなかったし、「現地開催」、「オンライン」等と明示することが普通になるとは予想していなかった。これ以降、第26回「知を産み、育むー沢山美果子『性からよむ江戸時代』を題材にー」（講師：沢山美果子氏）は2021年1月13日にオンライン形式で、第27回「2.4次元のアートとJAZZ～ローカルとグローバルをつなぐ『線』～」（講師：徳持耕一郎氏）は同年3月9日にハイブリッド形式で開催された。さて、2020年3月4日、岡山大学附属図書館 twitter は初めて利用制限についてアナウンスした：「新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、中央図書館グループ学修室等の利用について、以下の通り利用休止します。期間：2020年3月2日（月）～3月31日（火）」その後、休業期開館、学外利用者の入館制限等を経て、同年4月18日から5月21日まで休館となった。これまでコロナウイルス対策のために休館した期間は学生の入構禁止期間にほぼ一致し、78日である。

岡山大学全体の活動に関していえば、全ての大学構成員の生命と健康、安全を守ることを目的とし、「活動制限指針」が策定され、2020年4月17日に学生の入構禁止、対面授業停止、課外活動停止とともに、研究活動に対しては「新型コロナウイルス対策に直接的に関わる研究以外は原則停止とし、新たな研究は行わない」ことになった。これ以降、状況に応じて活動制限の緩和と強化が繰り返され現在に至っている。

全国の大学で活動制限が2020年春から始まり、先の見えない状況がこれまで続いてきた。学生、教員、研究者、職員はどのようなことを感じ、どのように変化する状況に適応し、または対応し、今後その影響が学業及び教育研究活動にどのように現れるのだろうか。いずれデータに基づく評価が発表されるだろう。ここでは、感染拡大防止対策として社会距離拡大戦略が取られ、俄に注目された科学者を取り上げたい。それはアイザック・ニュートン（図1）である。

1665年夏、ケンブリッジ大学はロンドンの大疫病への対策として一時的に閉鎖され、学生は家に戻された。当時ニュートンは22才、トリニティー・カレッジの学生であった。そして学士の学位を取得した直後に、ケンブリッジから北に100kmほど離



図1 アイザック・ニュートンの肖像画
Godfrey Kneller, Public domain, via Wikimedia Commons
(https://commons.wikimedia.org/wiki/File:Sir_Isaac_Newton_by_Sir_Godfrey_Kneller,_Bt.jpg)

れた生家ウールスソープ・マナー (図2) に移り、2年間一人で学び、一人で研究を続けた。そして林檎の木はそこにあった。実際にニュートンは老年になって、あの林檎の木の話をしている。当時はペスト菌が発見される200年以上前で、大疫病の原因が不明であったにも拘わらず、職場・学校から離れるという人々がとった戦略 (Social distancing) は基本的に今と同じだった。ただし、オンライン授業、電子ジャーナル、オンライン会議もない孤立した環境で、ニュートンは文字通り一人で研究を続けたことになる。この間、微積分学、光学、力学、そして万有引力の法則を創り上げた。後に、1666年は「奇跡の年」(Annus mirabilis) と呼ばれるようになる。1667年にケンブリッジに戻ったニュートンはすぐにフェローに選ばれ、二年後には教授に昇進した。



図2 ウールスソープ・マナー

DeFacto, CC BY-SA 4.0

<<https://creativecommons.org/licenses/by-sa/4.0/>,
via Wikimedia Commons

(https://commons.wikimedia.org/wiki/File:Woolsthorpe_Manor_-_west_facade.jpg)

おおよそ上のような内容を紹介したワシントン・ポストの記事の見出しは“During a pandemic, Isaac Newton had to work from home, too. He used the time wisely”であり、最後はこう締めくくられている。「これから数週間、家で仕事や勉強をすることになるのであれば、ニュートンの例を思い出そう。田舎暮らしの中で深く考え、実験をする時間がたっぷり与えられたことで彼の人生は大きく変わったということ」(Washington Post, 2020年3月13日)。

一方で、MIT教授の Levenson はニュートンに勇気づけられる者に注意を呼びかけている(Thomas Levenson, “The truth about Isaac Newton’s productive plague”, New Yorker, 2020年4月6日)。ニュートンが牧場に囲まれた家で孤独に研究を行った二年間は、数学と物理学に革命をもたらす数多くの成果を生み出した奇跡の年であることは事実だが、大疫病によって強いられた田舎生活のおかげでニュートンの才能が爆発したとするのは間違いであり、その例を用いて、パンデミックが続く今の状況に私たちがうまく適応し、質の高い仕事ができるはずだと考えるのは危ういことだと Levenson は主張する。ニュートンはパンデミックが始まる前、トリニティー・カレッジで試験勉強をしている間にも、当時の科学界における喫緊の諸問題に取り組んでいて、数学についても深く考え始め、抽象的な推論ができる類まれな才能が自分に備わっていることに気づいていた。パンデミックが収束し、ケンブリッジに戻って間もなく、白い太陽光が様々な色に分解されることを示したプリズムの実験を始めている。ニュートンがパンデミック前から収束後にかけて数々の偉大な功績を残すことができた理由は、牧歌的な田舎で静かに研究できる環境を彼が得たからではなく、彼がニュートンだったからである、と著者はいう。ニュートンは人類史上最も偉大な数学者、科学者の一人であり、そしてほぼすべての時間を考えること、推論すること、計算することのみに費やしてきた。おそらく Levenson の言っていることのほうが先の新聞記事よりも真実に近いだろう。休みなく考え続けることは新しいことを創造し、発見するための必要条件に違いない。しかし、それを大前提として、静かな環境に場所を移し、普段と違う風景を眺めると、思考が活発になり、予期せず素晴らしいアイデアが浮かぶこともある。だから私は隠遁生活の効果を否定するものではない。サバティカ

ル（研究休暇制度）が多くの大学で今も続いていることは、研究能力を高め、活発に研究を行うために有効な制度であるからだろう。

パンデミックの期間ではないが、アインシュタインにも「奇跡の年」がある。1905年、アインシュタインは26才、スイス特許庁の審査官として働いていた（図3）。本務の隙間時間に研究を行い、同年その成果が4本の革新的論文として発表された。光電効果、ブラウン運動、特殊相対性原理、質量とエネルギーの等価性についての論文である。ちなみに、知好楽セミナーで秋山氏が取り上げた話題はブラウン運動だった。アインシュタインは特許庁時代を懐かしく振り返り、「私が自分の最も美しいアイデアを孵化させた場所がこの世俗的な回廊だった」と語っている。彼はしばしば、孤独な灯台守もしくは配管工として自身を支え、余った時間に物理をすることが望ましいとも話していた。これは本人の言葉だから、少なくともアインシュタインにとっての理想的な研究環境は周りに研究者のいない孤独な環境ということになるだろう。アインシュタインはカイザー・ヴィルヘルム研究所に教授職を得たが、その直後に第一次世界大戦が始まり、さらにナチスが台頭する中で、自らの選択によって、すなわち彼が発言すべきだと信じたことを発言することによって、沈思黙考できる静かな生活は実現しなかった。



図3 アルバート・アインシュタイン、1904年25歳
Public domain, via Wikimedia Commons
(https://en.wikipedia.org/wiki/File:Einstein_patentoffice.jpg)

2020年春からの一年半は、少なくとも大学関係者にとっては、ニュートンが研究に没頭したウールズソープ・マナーやアインシュタインが望んだ灯台守の生活を与えてくれるものではなかった。感染症対策に直接関わるすべての人々にとっては長時間・過密労働でそれどころではなかった。この間入学した学生は、通常の学生生活を経験することなく、自宅に引きこもってオンライン授業をうけるという孤独な生活を強いられた。しかしこの一年半は、様々な未解明問題について、個人が自ら真剣に考えざるを得ない機会を作ったのではないだろうか。ときには専門家の間でも意見の分かれる複数の仮説・提言・要請があり、それぞれの妥当性を自ら確かめる試みをしなければならぬからだ。そのためには、感染症に係る問題に限定すれば生命科学の知識（例えばタンパク質、ウイルス、細胞、免疫、ワクチン等々を理解するために必要な知識）そして普遍的な科学的思考法、この2つを道具として準備しなければならない。今はそれが非専門家にもできる時代である。インターネットを通じて、専門家だけでなく素人科学者も、最新の研究成果や統計データを直ちに手に入れ、AIソフトウェアによって解析することができる時代になっている。その意味で現代は、世界的感染爆発直前の2020年2月末に亡くなった理論物理学者ダイソン教授が18年前に予言した「素人学者の復権」が実現する条件が整った時代といえるだろう（Freeman Dyson, “In Praise of Amateurs”, *New York Review of Books*, 2002年12月）。

（こうが・けんいちろう 附属図書館館長）

マスカット

池田家文庫絵図展のお知らせ

池田家文庫は、江戸時代の備前岡山藩の藩政資料を中心とした約 10 万点にもものぼるコレクションです。現在は岡山大学附属図書館が保管しています。2005 年 3 月には岡山市と岡山大学の間で文化事業協力協定を結び、以後池田家文庫の特徴の一つでもある「絵図」を中心とした展覧会を毎年開催しています。

今回の展覧会では「岡山藩と武芸」をテーマに展示します。また、テーマにあわせて林原美術館の所蔵品も一部ご紹介いたします。

1. 名称：企画展池田家文庫絵図展「岡山藩と武芸」
2. 会期：2021 年 10 月 30 日（土）～11 月 14 日（日）

〔休館日〕11 月 1 日（月）、11 月 8 日（月）

〔開館時間〕10:00～18:00（入館は 17:30 まで）

3. 会場：岡山シティミュージアム 4 階企画展示室
〒700-0024 岡山市北区駅元町 15-1

4. 入館料：一般 310 円 65 歳以上、大学生以下無料

65 歳以上の方は年齢を確認できるもの、学生の方は学生証を提示していただきます。

5. 主催：岡山大学附属図書館、岡山シティミュージアム
共催：林原美術館

6. 関連行事

〔開会式+オープニングトーク〕予約申込制

日時：2021 年 10 月 30 日（土）9:50～10:30

会場：岡山シティミュージアム 4 階ロビーおよび展示室

講師：岡山大学学術研究院社会文化科学学域講師 東野将伸

〔講演会〕予約申込制

日時：2021 年 11 月 6 日（土）14:00～16:00

講師：茨城大学人文社会科学部人間文化学学科教授 高橋修

詳細は決定次第、岡山シティミュージアムホームページでお知らせします。

※関連行事は全て予約制です。10 月 15 日より岡山シティミュージアムにて予約を受付します。

7. 主な展示資料

- ・於竜ノ口山猪鹿追御覧之図
- ・許容牒
- ・〔旗指物図〕
- ・胡籙図
- ・阿蘭陀軍馬全備図
- ・高島砲術調練之図



岡山県立岡山聾学校生徒製作の木製ベンチをムラタアカデミアに設置

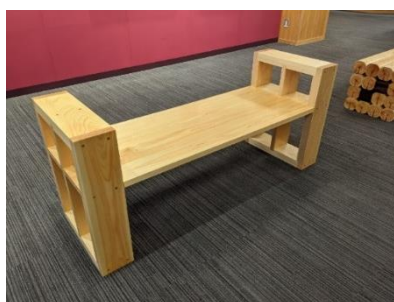
2021年2月19日に附属図書館と岡山県立岡山聾学校高等部との協働学習事業により、同校3年生の生徒2人が製作した木製ベンチ2台が納品され、中央図書館本館2階「ムラタアカデミア」に設置しました。

本事業は、木工を学ぶ総合デザイン科産業デザインコースの3年生が授業の一環として、県内の公共施設や企業等の依頼を受け、約1年間かけて木工品を製作するものです。作品の受注から納品までの過程を体験することにより、木工製作の技術だけではなく、顧客のニーズを読み取り、自分の思いを顧客に伝える活動を通して総合的なコミュニケーション力を習得することを目的としています。

附属図書館では、中央図書館本館2階「ムラタアカデミア」に設置するベンチの製作を生徒2人に依頼しました。2020年5月27日に打ち合わせと現地調査をオンラインで行った後、2020年9月25日に実施したデザイン検討会では、生徒が模型を元に複数のデザイン案のプレゼンテーションを行い、それぞれのアピールポイントや工夫点について説明を受けました。

2021年2月19日の完成披露発表会には、1年生の後輩2人を含む、聾学校、附属図書館の関係者20人が参加しました。3年生2人がそれぞれ製作したベンチ「イエス・ザ・ベンチ」と「睡眠注意」について、生徒たちが模型から改善したことや製作に苦労したことなどのエピソードを説明し、長く使ってもらえるベンチを製作したいという熱い思いを話しました。質疑応答では、参加者らが実際の作品に手を触れ、座り心地を確かめながら、木材の性質や加工技術について活発に意見を交わしました。

生徒からは、「自分のイメージした通りのベンチができて、達成感と喜びでいっぱいです。この経験を卒業後の生活に活かしていきたいと思います」と感想を話しました。今津勝紀附属図書館長(当時)は、「岡山大学の図書館は、人との交流により何かを生み出す空間です。交流のためにも納品いただいたベンチを大切に使っていきます」とお礼を述べました。



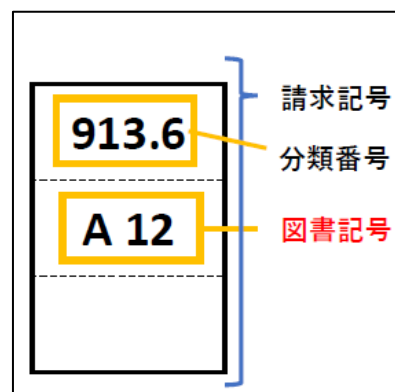
中央図書館図書の請求記号（背ラベル）の変更について

中央図書館では、2021年4月以降に受け入れる図書資料から、図書を探す時の手掛かりになる請求記号のルールを変更しました。

従来の請求記号（旧請求記号）は、背ラベルの2段目にある「図書記号」がアルファベット1文字であったため、同じ請求記号の資料が多数生じることが課題でした。この度、図書記号に「日本著者記号表 改訂版」を採用したことにより、著者や書名ごとに資料がまとまりやすくなるとともに、特定しやすくなるメリットがあります。

2021年3月以前に受け入れた図書は旧請求記号のまま残るので、今後は2つの請求記号が併用されます。配架順は、分類番号→図書記号の順に並ぶという点は変わりません。図書記号はアルファベットの順に並び、同じアルファベットの中では旧請求記号（アルファベット1文字）の後に新請求記号（アルファベット+数字）が並ぶようになっています。同じ請求記号が多数あるものは新請求記号へ更新する予定です。

附属図書館では、これからもサービス改善に取り組んでまいります。



企画展示「過去から未来へ—岡山大学のSDGs—」

中央図書館本館1Fロビー、本館2Fムラタアカデミアの展示スペースで「過去から未来へ—岡山大学のSDGs—」と題し、岡山大学のSDGsへの取り組み事例を紹介するパネル展示や、過去から連綿と続く岡山におけるSDGsの素養のある取り組みを紹介するパネル展示、関連図書の展示を行いました。

展示期間：2021年4月9日（金）～

展示場所：本館2Fムラタアカデミア、本館1Fロビー



中央図書館ミニ展示報告

中央図書館本館 1F ロビーの展示スペースで、当館資料を紹介する「ミニ展示」を実施しています。ぜひご覧ください。

今年度は以下のテーマで展示しました。

8月「生協寄贈図書展示」



知好楽セミナー報告

「知好楽セミナー」とは、グローバル化時代を生き抜くための「知」と「心」を育む交流をコンセプトとした中央図書館の独自企画です。各界から多彩な講師をお招きし、ご好評をいただいています。

- ・第26回「知を産み、育むー沢山美果子『性からよむ江戸時代』を題材にー」



日時：2021年1月13日（水） 15:00～16:30

講師：岡山大学客員研究員 沢山美果子

コメンテータ：岩波書店・『世界』編集部 大山美佐子、
山形大学准教授・附属博物館 佐藤琴

開催方法：オンライン（Zoomによるオンライン配信）

参加者：58名

今回の講演では、1冊の本『性からよむ江戸時代』（岩波新書、2020年）を題材に、沢山美果子客員研究員に史料と出会い、読み解き、現地を訪れ、本を書き上げるまでの経緯やエピソード、調査研究の過程やコロナ禍で感じられたことをお話いただきました。また、岩波書店・『世界』編集部の大山美佐子氏に、編集者の役割や本ができるまでの経緯について、お話しいただきました。山形大学准教授の佐藤琴氏には、山形大学附属博物館の資料の収集や保存、活用についてお話いただきました。そして、岡山大学附属図書館の職員から、参考調査のサービスについて説明しました。

・第27回「2.4次元のアートとJAZZ～ローカルとグローバルをつなぐ『線』～」



日時：2021年3月9日（火）14:00～16:30

講師：造形作家 徳持耕一郎

演奏：岡山大学JAZZ研究会、フルーティスト・コンポーザー Akiko

場所：中央図書館 本館 1F OG Wellness SALON（ラーニングcommons）、

Zoomによるオンライン配信

参加者：会場20名、オンライン配信24名

ワークショップ・ザウルスを主宰する造形作家の徳持耕一郎氏にご講演いただきました。今回の講演では、徳持氏がイノベーターとしてどのようにアート活動をしてきたか、他のジャンルを含めて、誰に出会い、どのように情報収集・吸収し、発想を形にして、鳥取から世界へ発信してきたかについて、お話いただきました。さらに、徳持氏と岡山大学JAZZ研究会、そしてスペシャルゲストとして、フルーティスト・コンポーザーのAkiko氏とのトーク&ライブセッション、ライブドローイングが行われました。

また、セミナーに先立ち開催した館内展示企画「徳持耕一郎作品展『線で奏でるJAZZ』」についても、セミナー当日を含め、展示期間中、多くの方にご覧いただきました。

セミナーの様子および徳持耕一郎作品展「線で奏でるJAZZ」については、岡山大学附属図書館YouTubeチャンネルで動画を公開しています。

岡山大学附属図書館 YouTube チャンネル

<https://www.youtube.com/channel/UCQFCNPFE-l6mJeMi8SIJMKA>

オープンキャンパス報告

2021年のオープンキャンパスはWeb上での開催となりました。

附属図書館では、高校生や保護者の方に向けた紹介ムービーを作成し、岡山大学HP内のオープンキャンパス特設ページで公開しました。

動画は下記のリンク先から閲覧可能です。(2022/03/31 公開終了予定)

https://webcampus.jp/okayama-u/video_68.html

オリエンテーション・データベース講習会実施報告

○中央図書館

中央図書館では2021年4月～6月にオリエンテーション等を開催し、延べ477名の方にご参加いただきました。

2021年7月にはZoomなどを使用してオンラインデータベース講習会を開催しました。開催後には岡山大学 Moodle を介して記録動画を公開し、2021年9月末までにオンタイム参加者とオンデマンド配信をあわせて延べ79名の方にご参加いただきました。

オリエンテーション、ラリー

実施日	対象	参加人数
4月2日～4月6日	新任教員	6
4月13日～6月23日	新入生	141

ガイダンス

実施日	講習会名	参加人数
4月21日	図書館・文献検索ガイダンス (教員の依頼により授業にて実施)	26
5月11日、 5月26日	ライティング・サポート・セミナー (教員の依頼により授業にてオンラインで実施)	304

講習会

実施日	データベース	参加人数
7月19日	Web of Science、EndNote	64
7月21日	Maruzen eBook Library	15

○鹿田分館

鹿田分館では2021年4月にオリエンテーション等を開催し、82名の方にご参加いただきました。

オリエンテーション

実施日	対象	参加人数
4月27日	院医歯薬博士	79

講習会

実施日	講習会名	参加人数
4月16日	医中誌、PubMed、CiNii Articles、J-STAGE	3

○植物研分館

植物研分館では2021年4月にオリエンテーションを開催し、5名の方にご参加いただきました。

オリエンテーション

実施日	対象	参加人数
4月5日	環境生命科学研究科新入生	9

郵送による貸出・返却、複写物サービスの実施報告

緊急事態宣言発令等に伴い、大学への入構が制限・禁止された学生・教職員を対象に、附属図書館では教育・研究支援の継続のため、「郵送による貸出・返却」、「郵送による館内資料の複写」を実施しました。

実施期間：2021年4月29日～6月21日

	貸出			複写		
	依頼人数	依頼冊数	貸出冊数	依頼人数	依頼件数	貸出冊数
中央図書館	155人	376冊	319冊	15人	26件	23件
鹿田分館	12人	23冊	16冊	1人	1件	0件

教員からの寄贈図書リスト

次の方々から著書をご寄贈いただきました。ありがとうございます。

<中央図書館>

稲垣賢二 [学術研究院環境生命科学学域 (農)]

これだけ!生化学——秀和システム, 2021.2 (464/S)

酒井正樹 [名誉教授]

Death-feigning in insects : mechanism and function of tonic immobility
——Springer, 2021 (486.1/Sa 29)

鄭 幸子 [グローバル人材育成院 (GDP)]

Gender and labour in Korea and Japan : sexing class——Routledge, 2011 (366.38/G 34)

Wind over water : migration in an East Asian context
——Berghahn Books, 2015 (334.42/W 76)

Zainichi literature : Japanese writings by ethnic Koreans
——Institute of East Asian Studies, University of California, 2018 (918.6/Z 1)

岡山大学出版会からの寄贈図書リスト

岡山大学入門講座2021 テキスト編集委員会

岡山大学入門講座2021——岡山大学出版会, 2021.3 (F377.9/O)

鄭 国慶 [学術研究院自然科学学域 (理)]

超伝導を詩う——岡山大学出版会, 2021.3 (404/T)

会議

◆学外

- | | |
|---|--|
| 2021.4.15 第 69 回中国四国地区大学図書館協議会総会
～22 (オンライン投票) | 2021.6.22 岡山県大学図書館協議会令和3年度第1回
～7.2 総会 (メール会議) |
| 2021.4.23 第 48 回国立大学図書館協会中国四国地区協会
総会 (Web 会議) | 2021.6.25 第 68 回国立大学図書館協会総会
(オンライン投票) |
| 2021.5.14 国立大学図書館協会春季理事会 (Web 会議) | 2021.6.28 令和3年度岡山県図書館協会総会 (メール会議)
～7.23 |
| 2021.6.4 2021 年度オープンアクセスリポジトリ推進
協会 (JPCOAR) 第 14 回運営委員会 (Web 会
議) | |

◆学内

- | | |
|---|--|
| 2021.6.3 令和3年度第1回附属図書館運営委員会 | 2021.7.21 令和3年度第1回附属図書館運営委員会資源
植物科学研究所分館分科会 |
| 2021.6.15 令和3年度第1回岡山大学出版会運営委員会 | 2021.7.21 令和3年度第2回岡山大学出版会編集委員会
～28 (メール会議) |
| 2021.7.1 令和3年度第1回附属図書館電子ジャーナル等
経費検討委員会・電子ジャーナル等選定ワーキ
ンググループ合同会議 | 2021.8.2 令和3年度第1回附属図書館運営委員会鹿田
分館分科会 |
| 2021.7.15 令和3年度第1回岡山大学出版会編集委員会 | 2021.9.16 令和3年度第1回貴重資料委員会 |

研修

- ・令和3年度ハラスメント相談員研修会
参加者 森谷 めぐみ (6.9 学内 オンライン研修)
- ・令和3年度ERM入門研修
参加者 富岡 達治 (6.30 学内 オンライン研修)
- ・第19回日本古典籍講習会
参加者 石丸 綾華 (7.6～8 学外 オンライン研修)
- ・令和3年度目録システム書誌作成研修
参加者 塩尻 章代 (9.7, 9.14 学外 オンライン研修)
- ・第9回中国・四国・九州・沖縄地区大学図書館職員
フレッシュパーソンセミナー
参加者 植山 廣紀 (9.13～14 学外 オンライン研修)

編集委員から

第3学期が始まり、日ごとに秋らしくなる今日この頃です。今号では、コロナ禍での新たな取り組みを紹介しました。中でも知好楽セミナーは、アーカイブ配信をYouTubeにて行っていますので、ぜひご覧ください(動画は手作りです)!このほか、最新情報はホームページをチェックしてみてくださいね。(H.U)

岡山大学附属図書館報「楷」 No. 73 2021年10月1日
発行人 奥村小百合 編集 広報ワーキング
岡山大学附属図書館発行 〒700-8530 岡山市北区津島中三丁目1-1
ホームページURL <https://www.lib.okayama-u.ac.jp>

